

松禪寺報

第 88 号

<http://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 令和 2 年 4 月 25 日

石室山 松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com



「春夜」 蘇軾（蘇東坡）

春宵一刻值千金

花有清香月有陰

歌管樓台聲細細

鞦韆院落夜沈沈

春宵一刻 值千金

花に清香あり 月に陰あり

歌管樓台 声細細

鞦韆院落 夜沈沈

春の夜のひとときは値千金

花には清らかな香りがあり

月はおぼろにかすんでいる

楼台から聞こえる歌や楽器の音

は静かになった

中庭のブランコもひっそりと…

夜はふけていく

写真は 4 月 7 日の夜、寺庭が

撮影した月と桜です。春の夜に

月がほのかに霞む情景に、心洗

われる思いです。

「明月随良縁」

明月良縁に随う

今は「忍」の時期。良い方向

へ向かうことを月に祈るばかり

です。

新型コロナウイルスは今や世界中に拡散し猛威を振るっています。多くの国や地域が緊急事態に陥り、その対応に追われて混乱が収まりません。予防するワクチンも有効な治療薬もなく、収束の目処は立っていません。今まさに人類は未曾有の試練を迎えているといっても過言ではありません。

臨濟宗妙心寺派においては、このたびの状況を受け、毎年恒例の法要や大勢の人が集まる行事・研修会などの中止や延期の対策をとっております。街の中に目を向けてみましても、人の行き来が消えて、経済活動が停滞し、社会全体が停止状態です。

ノーベル医学賞の山中伸弥先生は「新型コロナウイルスとの闘いは短距離走ではありません。1年は続く可能性のある長いマラソンです」とおっしゃっています。更に「新型



すでに報道されておりますように、世界的に新型コロナウイルスの感染が広がり被害が

コロナウィルスを制圧することはもはや困難です。受け入れるしかない。私は思います。社会崩壊も、医療崩壊も起こらない形で、ゆつくりと受け入れる必要があります」と。

先人が永年かけて積み上げてきた盤石と
思われていたこの現代社会を一瞬にして崩壊
してしまったこの新型コロナウィルスに対し、
私たちがどう向き合うべきかその心構え
を示して頂いているのです。

私たちが日々唱える「四弘誓願しぐせいがん」という
お経の第一句に「衆生無辺誓願度しゅじょうむへんせいがんど」とありま

.....

拡大しております。収束の目途は立たず、いよいよ深刻化し、政府は東京、神奈川、千葉、埼玉並びに大阪、兵庫、福岡に緊急事態宣言を発令しました。

感染によりお亡くなりになった方々に哀悼の意を表しますとともに、現在療養されている方々に心よりお見舞いと一日も早い快復を祈念申し上げます。

臨濟宗妙心寺派においては、このたびの状況を受け、毎年恒例の法要、大勢の人が集まる行事・研修会などの中止や延期の対策を

す。「生きとし生ける生き物をすべて救済する」というお釈迦さまの願いです。戦争や紛争など争いばかりを繰り返してきた人類が、今この時に、争いごとをやめ、お互いが手を取り合い、智慧を出し合い、この難局を地球レベルで協力して乗り切り、未来に続く真の人類のあり方を築く、その機会ととらえて参りたいと存じます。

私達は如何なる時も、お互いの生命を尊重し、共に人類の幸福をただ願うものであります。

臨濟宗妙心寺派管長

小倉宗俊 老大師

とっております。宗務本所の業務におきましてもマスクの着用、手洗い消毒を徹底しているところ です。

本派各寺院様におかれましては法要等を行う際には、感染拡大防止のために万全のご配慮をお願いいたします。

今はただひたすら、被害拡大を防ぎ尊い命を護るため、本派寺院並びに檀信徒皆が協力するべきであります。この事態が終息する日には、本山、全国の教区、部、寺院へ大勢の

人が集まり安心して法要や諸行事ができるよう宗派をあげて努力するとともに、この状況の中で偏見や差別が起こらないことを、そして人々に心穏やかな日々が戻りますことを心から祈念申し上げます。

令和2年4月8日

臨済宗妙心寺派宗務総長

栗原正雄

妙心寺派、教区、寺院関係の諸行事が中止または延期になっています

今般の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の国内での感染拡大防止と皆さまの健康と安全の確保を考慮し、妙心寺派が3月頃から行う定期巡教が中止となり、その後は様々な行事や会議等が中止や延期になりました。

松禪寺でも、3月22日(日曜日)に予定していました彼岸会での布教師さんによる法話会と、同日の彼岸法要を総代さんとの協議の結果、中止とさせていただきます。ただ、彼岸期間中のお参りは自由参拝とさせていただきます、彼岸入りの3月17日から23日頃まで十数名の皆さんがお参りに来られました。有難うございました。

4月から5月頃に予定されていた町内外寺

院様の晋山式も相次いで延期となり、齋会(寺院歴代和尚の法事)なども縮小して実施するなど、様々な対応に追われています。

3月末、コメディアン志村けんさんの死、続いて脚本家・宮藤官九郎さんの感染が伝えられました。この度の新型コロナウイルス感染症の問題を、より深刻に身近に感じさせるニュースでした。愛媛県では31日、通夜と葬儀に参列した人たちが感染したと報道されました。葬儀や法事の対応も他人ごとではなくなった事態に戸惑います。

加えて京都では大学生の集団感染が発生したため、週3日程度は妙心寺派宗務本所で勤務する身にとって、いつ自分が感染しても不思議ではない状態になっています。そのうち



▲松禪寺駐車場＝4月9日

に自分が感染して、知らないあいだに自分の周りの人にうつしてしまうかもしれない、そんな危機感を感じます。妙心寺派宗務本所は4月14日から交代勤務、同24日から5月6日まで閉所となりました。

すべてが沈滞モードですが、そんな中、お寺の桜は例年どおり咲きました。三寒四温で天候もめまぐるしく変化しますが、自然は静かに確かに移ろいでいます。この苦しい期間を助け合って乗り切りましょう。

5月17日＝境内掃除のお願い

今年も昨年に引き続き境内掃除を行いますので、ご協力をお願いいたします。その第1回目は次のとおり行います。

日 時 5月17日（日）午前8時より
約2時間

作業内容 境内周辺、霊園及び駐車場周辺の草刈り、境内の草取り等
持 参 刈払機、松葉かきなど

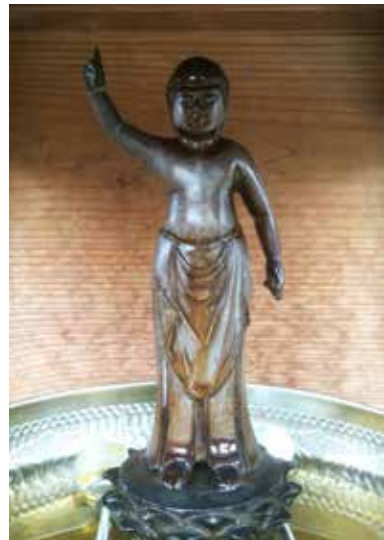
参加対象 上山根、下山根、貝田、平田、中路、宮本、檜谷のそれぞれの評議員と協力者1名を加えた計2名のご協力をお願いいたします。
※マスク着用でご参加ください。



お釈迦さまの生誕を祝う

花まつり

5月5日こどもの日に行います



松禪寺では5月5日（こどもの日）に、お釈迦様の生誕を祝う「花まつり」（降誕会、灌仏会などともいう）を行います。本堂前に花御堂を設け、甘茶を用意します。およそ午後5時頃まで設けていますので、ご自由にお参りください。

今から2千5百年ほど前、ヒマラヤ山脈の麓（今のネパール）にあった釈迦国はカピラ城の近くのルンビニーの園でお生まれになりました。その時、天から甘露の雨が降りそそいだといえます。また、竜王がお釈迦さまに香水をそそぎ、身体を洗ったともいわれています。これにちなんで、誕生仏に甘茶をそそぎます。

生まれたばかりのお釈迦さまは、すぐに7歩歩かれ、右手で天をさし左手で地をさして

「天上天下唯我独尊」と言われたと伝わっています。お釈迦さまの誕生こそ仏教の誕生といふことです。

人は生まれながらにして自由ですが、その環境で裕福な家に生まれる子どもいれば、貧しい家の子どもとなる場合もあります。しかし、一人一人がかげがえのない命をいただき、この上ない存在であるとお釈迦様は説いています。花まつりは、いただいた命に感謝し、7歩とはいわず、まず第一歩を歩む生命力をたたえる行事でもあります。



薬師祭中止のお知らせ

本年7月11日開催予定の餅つき、翌12日の薬師祭は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等のため、中止いたします。現時点では終息の目処も難しく、餅まき、コンサートを中止いたします。なお、その後に変更が生じた場合は、再度お知らせいたします。12日当日の法要は、住職が午前10時頃から、感染症早期終息祈願を薬師堂で行う予定です。

栗尾ふるさと委員会
松 禪 寺